

# 鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会第3回会議の概要

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

- 1 日時 令和2年9月22日（火・祝） 午後1時～午後3時20分
- 2 場所 さなめホール（米子市淀江町文化センター：米子市淀江町西原） イベントホール
- 3 委員 しまだじゅん 嶋田 純 熊本大学名誉教授【会長】、すぎたふみ 杉田 文 千葉商科大学教授、いとうひろこ 伊藤浩子 一般財団法人地域地盤環境研究所主任研究員、かつみたけし 勝見 武 京都大学大学院教授、こだまよしのり 小玉 芳 敬 鳥取大学教授

## 4 結果

### (1) パイロットボーリング調査の主な結果

- ア 計画地周辺に概ね3つの帯水層（上部から帯水層Ⅰ、帯水層Ⅱ、帯水層Ⅲ）が存在。
- イ 帯水層Ⅱと帯水層Ⅲの境界には、固結度が高い難透水層が存在。
- ウ 帯水層Ⅲの下位にも比較的固結度が高い地層（難透水層）が存在。

### (2) 本調査計画に対する主な意見

以下の意見をいただき、対応を検討中。

- ・帯水層Ⅰの水位は地下水の流れに大きく影響するため、観測井戸用のボーリング数（3地点）は少ないのではないかと。もっと本数を増やすべき。
- ・観測井戸用のボーリングは、帯水層の途中で止めるのではなく、帯水層全体の地下水が把握できる深度まで掘り進めるべき。
- ・客観的に地層の連続性を確認するため、ボーリングコアの目視観察だけでなく、地質分析を追加検討してはどうか。
- ・水質調査の精度を確保するため、調査項目を追加してはどうか。

### (3) コア確認及び現地確認

当日午前、パイロット調査のボーリングコア及び調査地点の確認を行った。

### (4) 傍聴

新型コロナ対策として、別室でモニターによる傍聴を実施（西部会場：さなめホール大ホール、東部会場：県庁講堂）。傍聴者は37名（西部：28名、東部：9名）。



コア確認の様子

## 5 今後の予定

令和2年10月 本調査ボーリング

11月 地下水位連続観測開始（1年間）、水質一斉観測（低水期に1回）

令和3年1月頃 第4回会議（本調査ボーリング結果の整理、シミュレーションモデルの構築検討等）